

KISETSU

2023年
12月号
Vol.4

企 業 の た め の よ ろ ず 情 報 誌



主 な 話 題

【特集】 通年雇用助成金の活用を

札幌市の2023～27年度実施計画案

地下鉄南北線さっぽろ駅ホーム増設



2028年度完成予定の北5西1・西2地区再開発ビルに整備する札幌駅バスターミナルの待合アトリウムイメージ(上)。新ターミナル完成までの間は、周辺道路上に分散する仮設バス乗降場(下)を利用することになります。

迫る「2024年問題」加速する人手不足 建設技能者不足——通年雇用化が急務 通年雇用助成金の活用で安定した人材の育成を

建設業界は、時間外労働に対する上限規制が厳格化される「2024年問題」に揺れています。2024年4月以降は、労働時間が短くなり、1人当たりのこなせる仕事量が減少し、人手不足にさらさら拍車がかかると言われています。「コロナ禍を脱し、宿泊業や飲食サービス業を中心に雇用情勢が改善する中、建設産業における人材確保はますます困難になっています。人手不足対策の一つとなるのが、通年雇用化の取組です。季節労働者を通年雇用へ切り替えることにより、人材確保や育成を計画的に進められ、貴重な戦力となっている労働者の本州などへの流出を防ぐことができます。通年雇用化を支援する「通年雇用助成金」の受け付けが2023年12月16日から始まります。制度の概要と申請手続きなどを紹介します。

北

北海道労働局が公表した2023年8月の有効求人倍率によると、道内全産業では

1・01倍と前年同月（1・12倍）

に比べ0・11ポイント下回りましたが、建設業の職種別有効求人倍率は型枠大工・とび工が7・32倍と依然高

倍率が続いているほか、建設・土木作業員も4・96倍と依然として不足が深刻です。

担い手確保に苦勞する建設業

では近年、正社員の求人が増加しています。建設業の求人に占める正社員の割合が、2015年8

月は76・1%だったものが上昇し、2023年8月には86・7%にまで達していますが、それでも応募者が少ない状況が続いています。新規採用が難しくなる中、今いる人材の流出防止がますます重要となっており、季節労働者の通年雇用化は有効な対策となっています。

冬季3カ月の給与に3年間の助成金

これから新規に通年雇用助成金の申請を予定している企業の場合、対象となる季節労働者は、2023年9月16日以前から雇用関係にあり、2024年1月31日の時点で、雇用保険の特例一時金の受給資格を得ている、この一時金が支給の見込みであることが条件

季節労働者1人を通年雇用助成金を活用して月給30万円で通年雇用した企業の場合

冬季分給与 1月 30万円
2月 30万円
+ 3月 30万円
3カ月合計 90万円

通年雇用に必要な3カ月の給与は3年間で270万円——

これに対し150万円が助成されるため……

1年目助成 (補助率2/3)
90万円×2/3=60万円

2・3年目助成 (補助率1/2)
90万円×1/2=45万円

自社の負担は120万円に軽減されます！

となります。
(一定の要件があります)

助成金は、2023年12月16日から2024年3月15日の間に通年雇用化した季節労働者一人一人の賃金（賞与も含む）の額面に応じて支払われます。2年目、3年目も通年雇用化していれば、引き続き助成を受けることができます。助成額については、対象期間

(2023年12月の賃金締切日の翌日から翌年3月の賃金締切日)に支払った賃金額に対して、1年目が3分の2(限度額は71万円)、2年目、3年目については2分の1(同54万円)が支払われます。

具体的な支払い例を見ると、季節労働者1人を通年雇用し、この時の月給が30万円だった場合、3カ月の総額は90万円になります。助成金の支払いを3年間満度に受けると、1年目は60万円、2〜3年目は45万円ずつ支給されることとなります。

3年間のトータルで考えると、270万円の冬季分3カ月の給与支払いに対する助成総額は150万円に上り、自社の負担は120万円になります。

一方、通年雇用助成金を利用せず、1〜3月の間、週2、3日のアルバイトとして雇い、月15万円を支払うとすると、支払総額は年間45万円、3年間では135万円となり、助成を受けた場合よりも、企業の負担額が大きくなる計算です。

申請手続きはハローワークで

通年雇用助成金を受け取るための最初の手続きは、地域を管轄するハローワークに「通年雇用届」などの書類を12月16日から2024年1月31日までの期間内に提出することから始まります。

さらに「支給申請書」などを定められた期間(2024年3月16日〜6月15日)に提出し、支給が決定すると、申請からおおむね2〜4カ月後に助成金が北海道労働局から支給されます。2年目以降についても、通年雇用を継続していれば、再度の申請手続きを行うことで、3年目まで助成金の給付を続けて受けることができます。

季節労働者の通年雇用化をサポートする「さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会」では、各種経営相談や助成金といった支援制度の活用など、建設業の経営全般に関わる課題解決に向け、協議会が開設している建設業チャレンジ支援センターで幅広くサポートしています。また、「支援員が

企業を訪問した際にも、遠慮なく相談し、さまざまな支援・助成制度を活用してほしい」と呼び掛けています。

〔通年雇用助成金〕

※詳しくは各ハローワークまでお問い合わせください。

通年雇用届 (12月16日~1月31日までの期間内に)

1. 通年雇用届
2. 対象労働者申告書(通年雇用届添付)
3. 継続雇用労働者名簿(初めて利用する場合または3年度以上利用がなかった場合のみ)
4. 対象期間内の工事(生産)見込証明書
5. 上記の工事(生産)見込みを証明する請負契約書・注文書等
6. 建設業法または採石業法に基づく登録証(登録している場合)
7. 労働者名簿または雇用契約書(対象労働者分ただし、初めて利用する場合または3年度以上利用がなかった場合は、在籍する全ての労働者分)
8. 出勤簿(新規継続労働者分)
9. 賃金台帳(新規継続労働者分)

支給申請書 (3月16日~6月15日までの期間内に)

1. 支給申請書
2. 対象労働者申告書(通年雇用届添付)
3. 継続雇用労働者名簿
4. 支給要件確認申立書
5. 支払方法・受取人住所届(登録済みの口座を指定する場合は不要)
6. 労働者名簿または雇用契約書(在籍する全ての労働者分)
7. 出勤簿(対象労働者の1~3月分、継続雇用労働者の3月分)
8. 賃金台帳(対象労働者の1~3月分)
9. 工事に関する請求書等および通帳の写し(通年雇用届時に契約書等が提出できなかった場合)

2023年度の除雪実施計画 まとまる 除雪費は2割増 — 除雪従事者は4千人規模を維持

札幌市は、2023年度の除雪事業実施計画などをまとめました。除雪費の総額は261億5,700万円で前年度当初に比べ21・2%増加しています。労務単価や軽油単価の上昇や大雪対策などで運搬排雪の経費を中心に増えています。また、2022年度に実施した除雪従事者アンケート調査結果では、市の除雪業務従事者数は4,000人と、5年前（2017年度）調査結果の3,940人より1・5%増えたことが判明しました。

2

023年度の除雪事業は、除雪センターを12月1日から開設し、車道除雪5,456km、歩道除雪3,048km、幹線道路の運搬排雪1,394kmなどを実施します。雪堆積場は前年度より2カ所多い82カ所を開設予定です。道路除雪の計画延長や実施回数などは前年度当初と大きく変わっていませんが、予算額が45億7,900円増加した要因としては、労務単価、軽油単価上昇への対応、

作業量の見直し、大雪に備えた運搬排雪の強化などを挙げています。除雪費全体の約3割を占める運搬排雪は、76億9,900万円と前年度比37・3%増になっています。今冬の主な取組としては、バス路線の除排雪強化、渋滞解消や見直し改善のための交差点排雪強化など、10力年の基本計画「冬のみちづくりプラン2018」に基づき着実に推進するほか、市民ニーズを踏まえた持続可能な生活道路

の排雪の在り方についても検討を開始します。

除雪作業の省力化としては、除雪機械にバックカメラやセンサーなどの安全補助装置を設置して助手が同乗しない「1人乗り化」を、これまで認めてきた市保有車両に加え、業者保有車両にも拡大していきます。

雪堆積場は、過去最大の搬入量だった2021年度実績の2,543万m³をベースに、排雪強化分を加えた2,677万m³の搬入可能量を確保しました。



業者保有除雪機械にも1人乗り化を拡大する

除雪従事者は5年間で 減少せず

市が、2022年度の道路維持除雪業務受託者約200社を対象に実施したアンケート調査の結果、市の除雪従事者数は4,000人となりました。

「冬のみちづくりプラン2018」では、2017年度に3,940人いた除雪従事者が、5年後には約1割減、10年後には約2割減になると推計していましたが、今のところ除雪体制は変わらず維持されていることが明らかになりました。

市では、①市内の建設業就業者が増えたこと②大型特殊自動車運転免許取得助成など市の人材確保支援による成果③各事業者による従事者確保などの企業努力などによって人数が維持されているものの、60歳以上のオペレーターが全体の約2割を占めるなど、今後は熟練従事者の大量退職が想定されるとし、ICT（情報通信技術）を活用した一層の効率化に取り組みとしています。

地下鉄南北線さっぽろ駅ホーム増設が着工へ 2028年完成を目指して

札幌市交通局は、市営地下鉄南北線さっぽろ駅のホーム増設に着工します。島式で運用されている既存のホームを麻生方面専用のホームにして、新たに真駒内方面専用のホームを設け、相対式のホーム構造に変更し、混雑緩和を図ります。近く着工する土木工事は5カ年の工期を見込み、2028年の完成を目指しています。

南

北線さっぽろ駅の1日平均の乗車人員は、新型コロナウイルス感染症流行前の2018年度実績で5万7,000人と、市内地下鉄駅の中で最も混雑する駅です。現在のホーム形状は両方向の乗降客が利用する島式で狭く、JR札幌駅へアクセスする一般的な経路となる北側の階段は著しい混雑が常態化しています。

レーターの設置が必要ですが、現行のホーム形状のままでは整備できず、スペースがありません。

北海道新幹線札幌駅の開業や北4西3地区をはじめとしたJR札幌駅周辺の大規模な再開発事業の計画により、さっぽろ駅の利用者数は増加することが見込まれるため、駅東側にホームを増設して、相対式のホームに改良するとともに、北側経路のホーム（地下2階）へコンコース（地下1階）間のエスカレー

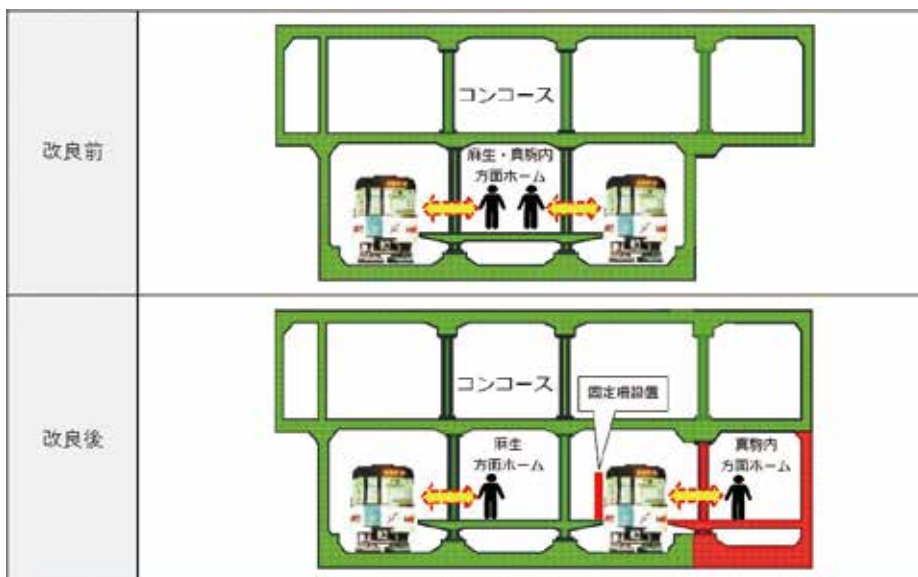
ターも設置して利便性向上を図る考えです。

真駒内方面用として新設するホームは、延長120m、幅員6mで計画し、併せて地下1階コンコースの東側通路部分も拡幅します。既存のホームには、真駒内方面行き の線路側に固定柵を設置して麻生方面専用になります。

2024年にも着工が検討されている北4西3地区の再開発ビルとは、コンコースのある地下1階で接続するほか、地下2階の新ホームからもアクセスできる改札口を設ける計画です。設計は日本交通技術（本社・東京）が担当しています。

年内にも着工予定の土木工事は、既存の地下鉄施設側に仮壁を設置して、開削工法で

新ホームなどの躯体を築造します。工期末は2028年3月30日までの5カ年で、使用する主要資材量はコンクリート約3,800t、鉄筋約580t、鉄骨約2,500tを見込んでいます。



南北線さっぽろ駅ホームの現状と増設後のイメージ

2023～2027年度のまちづくりアクションプランで 都心部再開発など600事業を推進 全体事業費は1・8兆円を試算

札幌市は、2023～2027年度に計画する政策的事業をまとめた「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」案を公表しました。取り組む事業は600事業に上り、5カ年の全体事業費には1兆7、854億円を見込んでいます。脱炭素社会の実現、都心部再開発を通じた市街地のリニューアル、子育て施策の充実などに重点投資します。計画期間内に立ち上げる新規事業やレベルアップ事業には372事業を挙げ、学校施設への冷房設備やLED照明器具の設置、半導体関連産業の集積促進、市役所本庁舎再整備への調査や仮称・南区複合庁舎整備、清田区民センター移転などに着手します。

このアクションプランは、上位計画の「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」（2022～2031年度）を実現するための中期実施計画として策定するもので、市の行財政運営や予算編成の指針となるものです。

5カ年の計画に盛り込んだ事

業数は600と、4カ年だった前アクションプラン（2019～2022年度）よりも13事業少ないものの、単年度当たりの平均事業費を見ると、今プランは3、570億円で、前プランを39・3%上回ります。

一般会計の建設事業費には、

5年間で8、029億円を見込み、単年度当たりの平均事業費は1、605億円で、前プランの1、123億円から大きく伸びています。学校や清掃工場などの老朽化対策、都心部の再開発事業など市街地のリニューアルなどが増加の要因となっています。

主な新規事業では、学校施設冷房設備整備には137億6、000万円を充て、2027年度までに市立幼稚園と学校の普通教室や職員室にルームエアコンを設置します。省エネルギーのため93億8、700万円を投じて学校施設の照明器具のLED化改修を進めます。

スポーツ施設の再整備には93億6、900万円を投入し、美

札幌市アクションプラン 2023 案の計画事業費

(金額・単位億円)

区 分	5カ年合計	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
全体事業費	17,854	3,178	3,760	3,737	3,716	3,463
うち建設事業費	8,029	1,359	1,708	1,646	1,689	1,627

5年単位の建設事業費推移の見通し



このほか、老朽化が進む市役所本庁舎の建て替えを含めた再整備の調査・検討費に1,200万円を上げて、2024年度に着手して、現状の課題や必要な機能を洗い出していきます。

里塚斎場についても、多死社会を見据えた再整備の計

画を2025年度に策定するため、6,200万円を計上しています。

インフラの新設・改良は2030年頃から減少

市は、アフションプラン2023の策定に伴い、30年後の2052年度までの長期財見通しを示しています。道路、公園などのインフラ施設の新設・改良は、人口減少が顕著になる2030年頃から緩やかに減少していく見通しです。

今後予測される人口減少や増大する公共施設の更新需要を踏まえ、中長期にわたり健全で持続可能な財政運営を実現するため、長期的な財見通しを試算しました。当面は歳入不足が生じ、2023年度までに1,225億円を積み上げていく基金の取り崩しが必要になります。事業の精査、事業費の節減などに取り組み、2052年度にも400億円程度の基金残高は維持できると見込んでいます。

建設事業費の試算では、可能な限り事業の平準化を図った上で、大

規模な施設などは個別に積み上げています。道路や公園などのインフラ施設の新設・改良は、人口減少とともに整備率も頭打ちとなる2030年頃から緩やかに減少するものの、維持・更新需要は現行の800億円台と同程度を確保します。

学校施設や市営住宅、市民利用施設や庁舎などの公共施設は、人口推計の減少傾向を踏まえた規模の適正化を図りながら、計画的に更新していきます。

一般会計建設事業費を5年単位で見ると、2023～2027年度は、清掃工場の更新や都心部再開発などで8,029億円となりますが、2028～2032年度は6,781億円、2033～2037年度は6,369億円、2038～2042年度は6,294億円、2043～2047年度は5,668億円、2048～2052年度には5,139億円へと徐々に減少する見通しです。

香保体育館の更新、大倉山ジャンプ競技場改修を計画しています。

地域交流拠点整備としては、清田区民センター移転に1億4,600万円を見込み、2027年度の基本・実施設計を予定しています。仮称・南区複合庁舎整備は、老朽化が進む南区役所と南区民セ

ンター、南保健センターを複合化した施設として構想しています。

都心のリニューアルでは、北5西2地区バスターミナル整備に88億4,800万円を拠出し、創成川上空歩行者動線や交通広場など札幌駅周辺交通施設の調査検討には22億1,400万円、大通西4南地区再開発には82億7,300万円を配分します。

ラピダスの次世代半導体製造工場建設を念頭に置いた半導体関連産業集積促進事業には6,800万円を充て、関連企業の拠点形成に向けた基礎調査などを進めます。

2025年度に策定するため、6,200万円を計上しています。

インフラの新設・改良は2030年頃から減少

市は、アフションプラン2023の策定に伴い、30年後の2052年度までの長期財見通しを示しています。道路、公園などのインフラ施設の新設・改良は、人口減少が顕著になる2030年頃から緩やかに減少していく見通しです。

今後予測される人口減少や増大する公共施設の更新需要を踏まえ、中長期にわたり健全で持続可能な財政運営を実現するため、長期的な財見通しを試算しました。当面は歳入不足が生じ、2023年度までに1,225億円を積み上げていく基金の取り崩しが必要になります。事業の精査、事業費の節減などに取り組み、2052年度にも400億円程度の基金残高は維持できると見込んでいます。

建設事業費の試算では、可能な限り事業の平準化を図った上で、大

規模な施設などは個別に積み上げています。道路や公園などのインフラ施設の新設・改良は、人口減少とともに整備率も頭打ちとなる2030年頃から緩やかに減少するものの、維持・更新需要は現行の800億円台と同程度を確保します。

学校施設や市営住宅、市民利用施設や庁舎などの公共施設は、人口推計の減少傾向を踏まえた規模の適正化を図りながら、計画的に更新していきます。

一般会計建設事業費を5年単位で見ると、2023～2027年度は、清掃工場の更新や都心部再開発などで8,029億円となりますが、2028～2032年度は6,781億円、2033～2037年度は6,369億円、2038～2042年度は6,294億円、2043～2047年度は5,668億円、2048～2052年度には5,139億円へと徐々に減少する見通しです。

32校、77チームが参加し熱戦 8チームが12月9日の決勝へ

—コンストラクション甲子園地区予選建設業などの知識を競う

高校生らを対象に公共事業や建設業の知識と技術を競うクイズ大会「コンストラクション甲子園」の2023年地区予選が10月14日に道内各地区で行われました。7地区の会場で32校77チームが参加。このうちワイルドカード（WC）を含む8チームが決定し、12月9日に札幌市で開催する決勝にコマを進めることになりました。

コン

ストラクション甲子園」は、建設業、防災などにに関するクイズを出題し、これらを学んだ多くの生徒が防災リテラシーを高めることなどを目的に、昨年から帯広二建会・釧路建親会・オホーツク二建会の3団体により始まりました。

2回目となる今回の大会は、昨年の3団体に旭川建設業協会二世会、札幌建青会、函館建青会、葉月会（空知）、萌志会（留萌）加わり、8建青会が開催。参加も昨年の20

校、49チームから大きく増えています。優勝チームには沖縄旅行をプレゼントします。

予選には生徒2人1組で参加します。事前に出題内容を網羅した学習用ウェブページを送付し、4択クイズなどで知識を競いました。クイズでは建設業界の働き方改革を推進している取組の新3Kの意味を問うものなど、建設業になじみ深い設問のほか、「マンガ『こち亀』の両津勘吉が破壊した施設で最も高額なものは？」（例示…



建設業に関わるクイズに挑戦した

国会議事堂、黒部ダムなど）など意表を突く質問もあり、生徒と一緒に悩む会員もいました。

予選を突破した8チームの生徒たちは「高校のクイズ研究会に所属しているが、建設に関する知識はなかった」と、この機会に勉強できてよかった。「相棒が急遽体調不良で1人の参加となったが、勝ち抜けたので、決勝はぜひ2人の力を合わせて突破したい」など喜びと決意を語っていました。

■地区別の優勝とワイルドカードチームは次の通り。（敬称略）

【石狩】超しノ理論（札幌南高）七戸敦司、早稲田直希【空知】ファルコン（岩見沢農業高）小松烈、若浦京佑【渡島・檜山】ふくしように（福島商業高）湊田佳、石岡優じよ（福島商業高）湊田佳、石岡優【上川・留萌】龍谷ワイ研B（旭川龍谷高）本村啓州、山本翼【オホーツク】炎身龍（北見工業高）眞野拓登、佐藤優人【十勝】いー（ロール）（帯広柏葉高）田原優弥、井越創哉【釧路・根室】ほしやま（標茶高）多田星斗、山賀瑛太【ワイルドカード】【石狩】cuber（札幌日本大学高）千場瑞希、都築楓太



77チームによる熱い闘いが展開された

札幌市は2年連続のマイナス人口減少傾向、全道で顕著に 住民基本台帳データに基づく北海道の人口動向

総務省の住民基本台帳データに基づく北海道の人口動向によると、2023年1月時点での総人口は、前年度比0・8%減の514万人となっています。人口減少は1997年の約570万人をピークに毎年減少を続け、特に地域経済の担い手である生産年齢人口（15～64歳）は293万4,000人と、3年連続して300万人を割り込みました。道内の総人口の3割強を占め、北海道全体の人口減少の歯止めとなっていた札幌市は、2022年、2023年と2年連続の減少となり、人口減少の波は札幌市を含め全道市町村で顕著になり、担い手不足に拍車を掛けることが危惧されます。

住

住民基本台帳データで公表されている北海道と179市町村について、年代別人口を整理し、直近5年間で10年前の2013年のデータと比較しました。北海道の総人口は1997年の約570万人をピークに減少傾向が続き、ここ数年3～4万人規模で

減り続けています。年代別に10年前の数値と比較すると、15歳未満と15歳以上65歳未満がともに10%以上の減少となる一方で、65歳以上は約24万人、17%増加しています。この結果、年代別構成比は65歳以上が約33%と、10年前に比べ約6%上昇し、人口減少と高齢化

がより顕著となっていて、全国の割合（29%）と比べても4%高い水準です。

札幌市については、同市以外の市町村で人口減少が加速する中、増加を続けていましたが、2022年には減少に転じ、2023年もマイナスとなっています。ただ、減少幅は1%以下のため、全道に占める札幌市のシェアは上昇を続け、2023年は33%に達し、全道的な人口減少下で札幌市への一極集中が進んでいることが伺えます。

一方、札幌市の年代別の状況を見ると、15歳未満、そして15～64歳の生産年齢人口はいずれも減少の一途をたどっています。特に社会経済の担い手である生産年齢人口は、10年前と比べ約6%、7万4,997人減少しています。

対照的に65歳以上は55万人を超過、10年前から約30%、13万3,799人増加し、世代別の割合を見ても、65歳以上が28%と、この10年間で割合が6%上昇しています。長年にわたって本州への人口流出の

「ダム機能」を果たしてきた札幌市の人口減少と少子高齢化が今後進むと、全産業で問題となっていく担い手不足がさらに深刻化することも考えられます。

北海道と札幌市の人口推移

(単位：人)

総数	2013年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道	5,465,451	5,339,539	5,304,413	5,267,762	5,228,732	5,183,687	5,139,913
札幌市	1,919,664	1,952,348	1,955,457	1,959,313	1,961,575	1,960,668	1,959,512
15歳未満	2013年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道	641,679	595,916	584,212	571,826	560,651	547,532	532,860
札幌市	225,343	222,648	221,028	219,186	217,371	214,424	210,851
15～64歳	2013年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道	3,389,070	3,122,538	3,077,085	3,037,552	2,997,094	2,959,929	2,934,341
札幌市	1,270,234	1,220,112	1,212,588	1,207,270	1,202,138	1,197,714	1,195,737
65歳以上	2013年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
北海道	1,434,702	1,618,695	1,640,866	1,656,347	1,668,858	1,674,286	1,672,712
札幌市	424,087	509,588	521,841	532,857	542,066	548,530	552,924

庁舎の建て替えなどが本格化 北海道防衛局

— 2023年度は旭川や上富良野などの庁舎や隊舎を発注

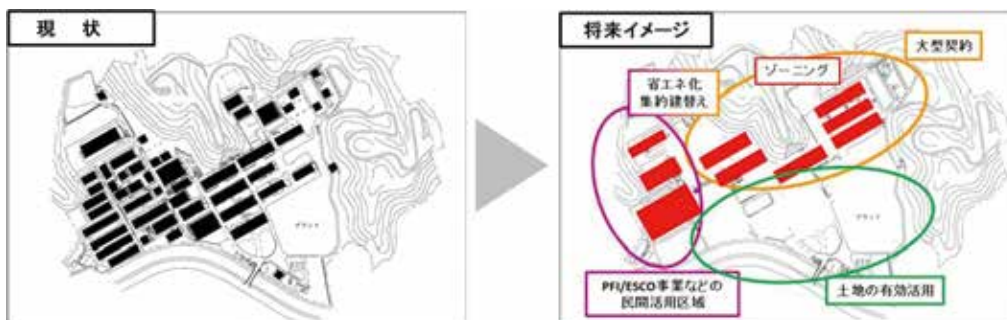
北海道防衛局は、防衛省が策定した防衛力整備計画に基づき、2023年度から各地の隊舎や宿舎の集約化・耐震化・老朽化解消に向け、敷地内の施設立て替えなど再編整備を本格化させます。本年度は旭川の庁舎など10億円を超える大型工事が相次いで発注となり、来年度以降も引き続き整備が行われる見通しとなっています。

北

北海道防衛局の庁舎などの施設整備は、防衛省が2022年度に策定した43兆円に上る防衛力整備計画（2023年度～2027年度）の自衛隊施設の強靱化の一環として行われるものです。5力年に約1兆7、000億円を見込み、全国の基地・駐屯地など約300地区にある約2万3、000棟の建物などを再編整備します。再編整備は膨大な事業量となるために、同省では現状を把握・評価を行い、施設の機

能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保のための再配置・集約化、老朽改修の計画及び省エネ対策などを含んだ「マスタープラン」を2022年度に策定しました。北海道については、北海道防衛局と帯広防衛支局が一連の工事を発注します。対象は立て替えて約2、319棟、改修では900棟に上ります。このうち5、000㎡を超える施設は両機関で30棟となっています。発注に際しては、地元企業への配慮として、共同企業体

（JV）の運用を見直し、参加企業数の増加や地元企業をJV構成員に含むことなどを求めています。2023年度は、10月下旬以降、旭川の庁舎など10億円を超える大型工事が相次いで開札となっています。最も規模の大きい旭川の庁舎は延べ約9、700㎡を予定し、30億円以上の工事規模です。11月には20億円以上を見込む北海道大演習場の道路整備（橋梁）が発注となり、20～30億円の上富良野庁舎（延べ約8、200㎡）や名寄宿舎（同5、900㎡）、10～20億円の岩見沢庁舎（同4、200㎡）や千歳隊舎（同7、200㎡）も開札となりました。



施設再編イメージ（上）と2023年度の大型工事 一覧（下）

工事件名	工種	工期	工事規模	概要
上富良野 (5) 庁舎等新設建築その他工事	建築	29カ月	20～30億円	庁舎 (RC造、5階、約8,200㎡) ほか3棟の新設
旭川 (5) 庁舎新設等建築その他工事	建築	29カ月	30億円以上	庁舎 (RC造、5階、約9,700㎡) の新設
岩見沢 (5) 庁舎新設等建築その他工事	建築	26カ月	10～20億円	庁舎 (RC造、3階、約4,200㎡) ほか2棟の新設
東千歳 (5) 庁舎等新設建築その他工事	建築	26カ月	6.8～10億円	庁舎 (RC造、2階、約2,600㎡) ほか1棟の新設など
千歳 (5) 隊舎等新設建築その他工事	建築	24カ月	10～20億円	隊舎 (RC造、4階、約7,200㎡) ほか1棟の新設
名寄 (5) 宿舎等新設建築その他工事 (1工区)	建築	23カ月	20～30億円	宿舎 (RC造、5階、約5,900㎡) ほか4棟の新設など
北海道大演習場 (5) 道路等整備工事 (4工区)	土木	20カ月	20～30億円	橋台・橋梁上部工・橋梁上部工に係る設備 (電気)



4車線化に着手する東占冠トンネル

道東道4車線化で 東占冠トンネルなどに着工 — 北海道新幹線の明かり工事の開札進む

NEXCO東日本北海道支社と鉄道・運輸機構（JR-TT）北海道新幹線建設局の主要工事の発注状況がまとまりました。NEXCOは道東道4車線化に伴う工事で、狩勝第一とホロカトマムの2トンネルを2023年11月から12月にかけて開札し、東占冠トンネルは2023年内の入札公告を予定しています。JR-TTは、倶知安町内での高架橋などの明かり工事の開札が進んでいます。

NEXCO東日本北海道支社の道東道4車線化は、占冠ICから十勝清水IC間約47kmが対象です。区間中のトンネルは、東側から広内、狩勝第一、同第一、下トマム、ホロカトマム、滝の沢、東占冠の7トンネルとなり、広内については現在工事が進行中で、残る6トンネルのうち、2023年度は狩勝第一とホロカトマム、東占冠の3トンネルに着工します。いずれも工事規模に50億円以上を見

込み、3トンネルで最も延長が長い東占冠は年内の公告を予定しています。占冠PA、トマムIC、長流枝スマートICも年内から年度内に公告となる見通しです。

北海道新幹線は、駅舎などがある地域で高架橋などの工事が2022年度からスタートし、これらの明かり工事は、これまでに約40件、3、200億円が発注となっています。2023年度については、10月に長万部駅高架橋を五洋建設・札建工業・菅原組JVが約240億円で落札しています。トンネルについてはすべてのトンネルが着工済みです。40地区で工事が進み、9月1日時点で12トンネルが掘削率100%に達し、全トンネルの総延長（169km）に対する掘削率は68%（92.6km）となっています。

工事名	想定規模	工期	概要
道東自動車道東占冠トンネル工事	50億円以上	75カ月	延長約3.5km、トンネル延長約2.5km
道東自動車道ホロカトマムトンネル工事	50億円以上	65カ月	延長約2.5km、トンネル延長約2.0km
道東自動車道狩勝第一トンネル工事	50億円以上	60カ月	延長約4km、トンネル延長約2.5km
道東自動車道占冠PA工事	22.8-50億円	55カ月	延長約4.5km、切盛土工約30万㎡
道東自動車道トマムIC工事	22.8-50億円	50カ月	延長約6km、切盛土工約70万㎡、橋梁上下部工3橋
道東自動車道長流枝スマートIC工事	13-22.8億円	50カ月	延長約1km、切盛土工約30万㎡、ランプ橋1橋

NEXCO（上）とJR-TT（下）の主要工事概要

工事名	開札日	落札者	落札額(千円)	工種	工期
北海道新幹線長万部駅高架橋	2023/10/5	五洋・札建・菅原JV	23,998,000	土木・PC	44カ月
北海道新幹線札幌車両基地高架橋1	2023/5/29	鹿島・飛島・岩田地崎・中山JV	18,070,610		58カ月
北海道新幹線国縫高架橋	2023/4/27	清水建設・京成建設・高橋組JV	15,973,200	土木・PC	44カ月
北海道新幹線共立路盤	2023/6/30	奥村・日本国土・渡辺JV	15,960,000	土木・PC	42カ月
北海道新幹線花岡高架橋	2023/5/30	青木あすなろ・みらい・生駒JV	12,809,700	土木	43カ月
北海道新幹線新八雲(仮称)駅高架橋	2023/6/22	飛島・東鉄・富士サルベージ・東陽JV	9,198,900	土木	38カ月
北海道新幹線八雲軌道スラブ製作運搬	2023/4/26	ピーエス三菱・日本高圧コンクリートJV	5,696,000	PC	63カ月
北海道新幹線札幌軌道スラブ製作運搬(再公告)	2023/10/4	オリエンタル白石・日本ピーエスJV	5,431,000	PC	72カ月
北海道新幹線新開橋りょう(PCU形けた)	2023/9/13	ピーエス三菱・日本高圧コンクリートJV	5,286,000	PC	40カ月
北海道新幹線長万部軌道スラブ製作運搬	2023/5/19	三井住友・ドービーJV	5,235,500	PC	62カ月
北海道新幹線倶知安軌道スラブ製作運搬	2023/5/11	極東興和・東日本コンクリートJV	5,170,000	PC	64カ月
北海道新幹線静伏川橋りょう(PCU形けた)	2023/9/25	ドービー建設工業㈱	4,044,000	PC	39カ月
北海道新幹線南一線橋りょう(PCU形けた)	2023/8/28	オリエンタル白石・日本ピーエスJV	3,129,000	PC	37カ月

北海道が消防・防災職員向けに ドローン自動飛行デモを開催

― 遭難対応や森林火災面積の測定など活用事例も学ぶ

北海道は2023年9月12日、消防・防災分野でのドローンの活用に弾みを付けようと、一般社団法人ジャパン・イノベーション・チャレンジ（JICC）と連携し、ドローンの自動飛行デモを室蘭市内の室蘭岳山麓総合公園で開催しました。山菜採りやバックカントリースキーでの遭難対応、森林火災などの面積の測定などを迅速・安全に進められるとあって、約40人の関係者はビデオを撮るなど熱心に見学していました。

JICCは、ドローンを活用した夜間山岳遭難救助サービス「ナイトホークス」を展開し、2023年までに道内17を含む全国22の自治体と協定を結び、ヘリが使えない夜間に空からの捜索活動を担っています。

さらにJICCが開発した「ドローン自動航行ルート作成ソフト」「赤外線動画自動解析ソフト」を8月

から無償で公開し、JICCの会員が駆け付けなくても、消防職員らが防災活動などにドローンを活用できるような人材を育成し、普及を図る考えです。

ソフト公開後、今回が全国初のデモで、胆振・日高・石狩・後志管内の消防職員と市町村防災担当者が参加しました。飛行デモに先立ち、JICCの伴藤悠子営業部長、野

口宏実システム部長が、「ナイトホークス」の活動内容、使用機材、ソフトウェアの概要などを紹介し、夜間の自動飛行の留意点については「ドローンのバッテリーを考慮して飛行時間の短い所から搜索すること」「送電線や電波塔などの障害物などを事前に確認すること」などをアドバイスしました。

自動航行の活用事例としては、冬山でのバックカントリースキーや山菜採りなどの山岳遭難の夜間搜索のほか、森林火災の状況や火災面積の測定、火山火口の調査、シカなど有害鳥獣の生息調査、河川氾濫状況の確認を挙げて、それぞれのメリットや留意点を解説しました。

屋外でのデモは、赤外線カメラと可視光カメラ、レーザー距離計を搭載したDJIS社製M300R TKでテニスコートの上空を100mの高さで自

動飛行し、オルソ画像を作成して面積を計測しました。

参加者は、公開ソフトが対応するドローンの機種を尋ねたほか、オルソ画像の作成手順を質問する職員もいる一方、「これからドローンが導入されるので、まずは操縦の練習をしていきたい」と話す職員もいました。



自動で離着陸するドローンを見守る消防職員たち

地域の再生を若者ととも

北海道建青会第38回全道会員大会

建設産業の役割と協働・共創のあり方などを
留萌から発信

北海道建青会は2023年9月8日、第38回全道会員大会を留萌市文化センターで開催しました。主管は留萌志会（留萌建設協会二世会、堀口哲志会長）となります。大会のテーマとして「Revitalization」（再生）と「地域と建設業の再生を考える」を掲げ、人口減少と少子高齢化が進む地域の再生を目指し、若者たちが住み続けたいくなるまちとするために、建設産業が高校などと協働しながら未来を創り上げていくことの意義と役割を議論・確認しました。

大 会には構成する道内11の二世会（建設業の再生を推進する）のメンバーや行政機関、建設団体から約250人が参加しました。主催者として堀口会長は、現在の建設業が様々な課題に直面していることを踏まえた上で、「建設業は市町村の成長と一体となつて歩む産業であり、市町村の存続なくして建設業の未来はあり得ない。『課題先進地』の留萌から、

未来のまちづくりを担う若者との協働のあり方を考えるきっかけとなれば、と考え今回の大会を開催した」とあいさつしました。記念事業では、産業能率大学経営学部教授で教育コンサルタントの会社「Primapinion」代表の藤岡慎二氏と国土交通省の橋本幸北海道局長が講演。藤岡氏は高校の魅力化がまちを活気

づけ、移住の促進や関係人口の増加に大きな効果を発揮していることを紹介しました。橋本局長は建設業が担っている重要な役割を、未来を創る人材にしっかりと理解してもらつことが重要、と指摘し、「課題は数多くあるが、悲観するのではなく、ポジティブに『これから始めるんだ』という意欲と気概をもつて取り組んで欲しい。現場の魅力発信の際には、開発局も全力で応援する」とエールを送りました。

講演に続いて、認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラムの新保元康理事長と堀口会長、藤岡教授、橋本局長が参加して、「地域建設産業に必要なものは何か」をテーマにパネルディスカッションをしました。パネリストからは「建設業には魅力があふれている。本気で行動する人が人を動かす。こつした人たちが、各地で真剣に議論することで大きな動きになるはず」「建設業と教育

が関わる時のポイントは『共学共創』であり、企業と高校生がともに学ぶことで新しいことが創られていく」「我々の使命は『住み続けることのできる環境』を創り上げていくこと。建設業は最大のパートナーであり、若者や企業などが住み続けたいと思うようなまちに向けた環境整備をともに進めていきたい」となどの意見や決意が示されました。



建設業と教育の連携や果たすべき役割などを議論した

グリーンエネルギーは 企業にとって大きな魅力に ―ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港 可能性と未来を語る

石狩湾新港の可能性や未来をテーマとした「ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港」が2023年10月5日、札幌市北区のシャトーレーゼ・ガトーキングダム・サッポロで開催されました。北海道経済団体連合会や寒地港湾空港技術研究センターなどで組織する実行委員会の主催で、講演やパネルディスカッションを通じて、物流や流通、洋上風力発電の基地としての石狩湾新港の可能性と未来を考えました。

同 シンポジウムは、港湾の重要性や必要性を広くPRすることを目的に毎年道内主要港湾で開催しています。31回目を迎える今回は石狩湾新港を舞台に実施し、オンラインでの視聴を含めて約530人が参加しました。

第1部では眞田仁寒地港湾空港技術研究センター理事長が石狩湾新港の整備効果と振興ビジョンを

解説し、洋上風力発電施設の建設が進み、エネルギー拠点としての優位性が高まり、データセンターの立地が加速する一方で、2024年問題に伴う運送業での人手不足問題が深刻化している現状を指摘しました。

第2部では、基調講演に続いて二村真理子東京女子大現代教養学部教授と渋谷正信海洋エネルギー

漁業共生センター理事、柴藤正行札幌商工会議所副会頭と稲垣仁志大和リース北海道支店長、折谷徳弘石狩湾新港管理組合専任副管理者が参加し、パネルディスカッションを行いました。

パネリストからは「近年、脱炭素化を重要な企業戦略に掲げる企業が増えている。洋上風力発電によるグリーンエネルギー提供は、強力なブランドであり、これ



貴重な提言があったパネルディスカッション

をメッセージとして発信することで、これらの企業を引きつけるのでは」「北海道の物流の特徴はトラック輸送が98%を占めている点です。2024年問題でトラック輸送から海上輸送へのシフトが高まる可能性がある中、石狩湾新港の役割はますます大きくなる」「洋上風力発電から生まれる再生可能エネルギーの提供や活用により、物流・流通業界の脱炭素化に大きく貢献するのでは」など、カーボンニュートラルポートとしての優位性と役割を指摘する声が上がりました。

また「石狩湾新港の景色は国内の港湾では見ることができない風景です。この魅力を広く伝えるために港が一望できる展望台を作つては」「風車にLED電球を付けて観光名所とすれば若い世代へのグリーンエネルギーの関心が高まるのでは」など、「見える化」を意識した石狩湾新港のPRと、観光資源としての活用など、ユニークな提案も出ていました。

ゼロカーボンの代表的な 13の取組を紹介

— CO2削減量の試算例を明示開発局が事例集

北海道開発局は、2022年度北海道インフラゼロカーボン試行工事事例集を公表しました。同年度に各現場で実施したゼロカーボンの代表的な13の取組を紹介しています。事例では環境対策型建設機械やバイオ燃料、ソーラーパネルなど分野ごとにそれぞれの取組概要と、CO2削減量の試算例を明示し、ゼロカーボンの具体的な実績が分かる内容となっています。

インフラゼロカーボン試行の取組は、2022年度から開発局と北海道、札幌市、JRTT、東日本高速道路北海道支社発注工事です。スタートしました。取組んだ工事に対して、インセンティブとして工事成績で加点することなどで、道内建設業における脱炭素化の意識醸成を図ることを目的としています。インフラゼロカーボンはさまざまな取組があるため、事

例集で具体例とCO2削減量を明示することでより一層の普及を図ることを目的としています。

事例集では、分野ごとに採用した機械や設備、システムなどを取組の概要と期待される効果、CO2削減量の試算例をまとめています。石狩川改修工事音江別左岸築堤盛土外でハイブリッドバツクホウの使用例では、稼働台数1台、520時間の稼働を想定し、約

1万4,087kgの削減効果を試算しています。

また、ソーラーパネル設置による現場監視カメラを導入した道横断自釧路市仁々志別川橋上部製作架設の現場では、現場監視カメラの電源を発電機からソーラーパネルに交換することで約7,890kgのCO2削減を確認しました。コ

ンフリード打設で打設量計算に「LiDARスキャナ」を搭載したiPhoneまたはiPadを使用した現場（石狩川改修工事漁太南22号樋門改築）では、CO2削減に加え、打設数量の精度向上による工程短縮や建設副産物発生防止の効果などが見込めるとしています。



分野ごとの取組事例などを紹介している

さっぽろ ニュース ア・ラ・カルト

- 「BiVi新さっぽろ」がオープン
- 札幌商工会議所が「省エネ・再エネ導入支援窓口」
- 「ピヴォ」跡地に複合ビル建設

À La Carte

まちと人が躍動する札幌圏。この地域ではさまざまな出来事と話題が提供され、それが人々の関心を集め、それがまち全体の活気を呼び起こしています。「さっぽろニュースア・ラ・カルト」では、そんな「旬な」話題をご紹介します。

「BiVi 新さっぽろ」がオープン、コープさっぽろなどが入居

札幌の副都心、新さっぽろ地区が大きく変わります。「サンピアザ」や「イオン」、「カテプリ」、「デュオ」など既存商業施設に加えて大和ハウス工業グループの大和リースが2023年11月30日に複合商業施設「BiVi 新さっぽろ」をオープンさせます。市営住宅団地跡地を利用した大規模開発プロジェクトの一環で、新さっぽろ地区に新たな賑わいの創出が期待されます。

「BiVi 新さっぽろ」は、大和ハウス工業など6者が札幌市厚別区の市営住宅下野幌団地跡地で進めているものです。駅周辺では大学や専門学校、病院、マンション、ホテルなど他の施設はすでにオープンし、「BiVi 新さっぽろ」は最後の施設として開業します。新しい街区の総称は「マールク新さっぽろ」です。

施設の規模は、鉄骨一部鉄筋コンクリート造地下2地上4階、延



コープさっぽろ、ロフトなどが入居する「BiVi 新さっぽろ」

べ2万165㎡。館内は「GREEN BASE FOR FINE D AYS」をコンセプトに、木や公園をモチーフにした空間デザインが施されています。店舗は、1階の核テナントに「コープさっぽろ」が入り、2階には飲食店、3階には雑貨・コスメの「ロフト」などの店舗、4階には物販アミューズメントの「万代」などが入ります。総店舗数は34店舗に上ります。

2階には室内公園の「BiVi PARK」を設けます。天井に配置した大型LEDビジョンでは、季節に合わせた空を再現、雪の季節でも緑を感じられる公園として潤いを提供する予定です。

札幌商工会議所が「省エネ・再エネ導入支援窓口」

札幌商工会議所は、2023年度から「省エネ・再エネ導入支援窓口」を設置し、会員企業などのカーボンニュートラル実現に向けた省エネ設備や再生可能エネルギーの導入などについて支援を行っています。

「省エネ・再エネ導入支援窓口」では、会員などから寄せられる光熱費の節約や老朽化した設備の更新、補助金の活用、省エネ診断といった省エネ・再エネに関するさまざまな相談を受け付け、各事業者へのきめ細かな導入支援を行うのが目的です。

相談は2つの柱で動いていて、1つは札幌市と連携して運営しているカーボンニュートラルのポータルサイト「札幌ゼロカーボン推進ネットワーク」の活用です。このサイトは2022年度に開設し、2023年9月時点で省エネ・再エネ関連商品やサービスを取り扱う企業が25社登録されています。



企業の省エネ・再エネ導入支援を行う札幌商工会議所

もう一つの柱が、専門家による省エネ診断・支援が受けられる「省エネお助け隊」です。札商は、全国の商工会議所の中で2例目の「省エネお助け隊」への登録となります。経済産業省資源エネルギー庁の地域プラットフォーム構築事業で採択された地域密着型の省エネの支援団体です。

事業者の要請により、専門家が現地調査をして省エネ診断を行うもので、事前ヒアリングから現地調査、報告までに約1カ月間が必要で診断にかかる経費の9割が補助となります。

診断後には、事業者の実態に即した省エネの提案を行います。これまでの例では、照明のLED化や空調室外機への厨房排気遮蔽による効率向上といった省エネ設備入れ替え提案、換気用屋外フード防虫網の清掃などによるゼロコストでの運用改善提案などの提案も行いました。

「ピヴォ」跡地に 複合ビルを建設 ブランドホテル 「TRUNK」が進出

商船三井グループのダイビル（本社・大阪市）は、札幌市中央区南2条西4丁目の「ピヴォ」跡地に建設する複合ビル（仮称）札幌ダイビルP・V・O・T（ピヴォ）の概要を発表しました。地下2地上19階、延べ約4万2,000㎡の複合ビルを建設。2階までが商業店舗（5,000㎡）、3～8階がオフィス（1万9,000㎡）、10～18階がホテル（1万6,000㎡）となります。入居ホテルは、ブティックホテル「TRUNK（HOTEL）」（トランクホテル）が進出します。竣工は2027年1月

末、ホテル開業は同年春を予定しています。

商業ビル「ピヴォ」は建物の老朽化などにより、ことし5月に閉館しました。ダイビルは、同館を含む3棟を解体し、跡地に複合ビルを建設する計画で、このほど計画の概要を発表しました。ビジネスエリアと商業エリアとが混ざり合う立地を活かしたオフィス・ホテル・商業店舗で構成する複合ビルを建設します。

入居するホテル「TRUNK（HOTEL）」は、ウェディング事業国内大手のテイクアンドグヴ・ニーズが手掛けるラグジュアリーブティックホテルで、2017年に東京・神宮前に1店舗目をオープンしました。2023年9月には東京・代々木公園がオープンし、北海道では初の展開となります。シアタールーム、スパ、ジムなどを配置し、客室数100～110室を想定しています。1泊6万円～6万



TRUNK (HOTEL) の内観イメージ

円の価格帯で、最大300㎡のスイートルームも配置します。シアタールームや多目的ルームも設け、パーティーやイベントでの使用も想定しています。

ダイビルの丸山卓取締役は「いまままでにない、ここにしかない建物を作って、札幌の街に新しい風を吹き込ませたい」とコメントしています。

生産×加工×流通の6次産業化を応援 北海道6次産業化地域プランナー 萬谷利久子

北海道の農業が明日を創る! ④

農園ライフを実感する食卓

東日本大震災を機に蘭越町へ移住し、新規就農した牧野正さんと萌さん。「お昼を一緒に」と嬉しい誘いを受けて訪ねると、テーブルにはその日、ここだけの料理が並んでいました。猛暑の今年は食材の野菜にとっても過酷な年です。

夫婦で営む牧野農園は、イチゴ、トマト、サツマイモ、ライ麦などの作物を、化学肥料や農薬をなるべく使わずに栽培しています。貴重な食材で作られたメニューは、ライ麦パンケーキ、トマトのパスタスープ、旬の野菜サラダ。そして萌さんが樹から採取したメープル

ライ麦のパンケーキや
トマトのスープパスタなどが並ぶ食卓

シロップやハチミツ。どれも心に沁みる美味しさで、農園ライフの豊かさを実感します。

ご主人の正さんは料理人でもあり、ピザの出前調理も行っていて、札幌まで出張することもありません。生地からトッピングの野菜まで自家製の農園オリジナルのピザを提供しています。

農作業を手伝ってくれる地域の方々もたくさんいます。手伝いの報酬はポイント制で還元しています。ポイントが貯まると野菜やピザと交換し、食事に招待することもあるそうです。お金のやり取りでは得られない絆が生まれ、人手不足に困ることはほとんどありません。

北海道胆振東部地震によるブラックアウト（大規模停電）が起きた2018年9月6日、農園のある蘭越町豊国地区では秋祭りを予定していました。当然、中止かと思いきや、こんな時だからこそと一致団結し、会場に発電機を持ち込み、餅つきをするなどお祭り



モッツアレラチーズとトマトのカプレーゼセットも販売

は決行されました。「農家のたくましさを感じる出来事でした」と萌さんは振り返ります。「ここに住んで良かった」と正さんが言ってくれると、道産子の私も嬉しくなります。

現在、修学旅行生の農泊を受け入れています。将来的には一般の方たちにも訪れてもらえるような民泊も検討しています。以前に泊まった高校生が、「ここは空気がおいしい」と言ったそうです。私も農園に流れる穏やかな時間に包まれ、リフレッシュできました。最高の農園ランチ、ごちそうさまでした。

萬谷 利久子（ばんや・りくこ）

農×食×観光の専門家。農林水産省事業の北海道6次産業化地域プランナーとして生産者の商品開発や観光事業をサポートする。日本野菜ソムリエ協会認定の野菜ソムリエ上級Pro。北海道大学国際広報メディア・観光学院デスティネーション・マネージャー



さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会からのお知らせ

合同企業説明会の 出展企業を募集します！

さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会では、季節労働者および一般求職者を対象とした合同企業説明会を開催いたします。通年雇用での採用意向のある企業と求職者とのマッチングを目的として、下記の通り出展企業を募集します。

開催日時・会場

令和6年2月1日(木)

13:00～16:00

サッポロファクトリーホール
(中央区北2条東3丁目)

出展企業の募集について

通年雇用マッチング事業「合同企業説明会」
～安定就職のための「お仕事探しフェアinさっぽろ」～
[募集企業数30社]

- ・当日の出展料と会場駐車料金(1台分)は無料です。
- ・労働保険・社会保険等に加入し雇用する求人に限定させていただきます。

申し込み締め切り

12月18日(月)

申し込み多数の場合は、
抽選の上、
決めさせていただきます。



お申し込み・詳細は **通年雇用マッチング事業運営事務局**

受託事業者:株式会社北海道アルバイト情報社

〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目20-1 ジョブキタビル

TEL:011-223-3533 FAX:011-223-3313

〔受付時間:月～金 9時～17時〕 メール:tsunenkoyo-info@haj.co.jp 担当:太田・石嶋

※募集案内をご希望の企業様は、会社名、連絡先をメールまたはお電話でご連絡ください。

お問い合わせ

さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会

〒001-0024 札幌市北区北24条西5丁目1番1号 札幌サンブラザ 4F



0120-916-881

TEL.011-211-1823 FAX.011-211-1822

HP <https://sapporo-kisetsu.com/>

〔協議会のご利用時間〕9時00分～17時00分 土日祝日および12月29日～1月3日はお休みです。

※協議会の専用駐車場はございません。

ホームページをリニューアルしました。
ぜひご覧ください！

さっぽろ 季節

検索



今、「ほっかいどう学」が熱い!!

認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム 新保元康 理事長

空知ing（そらっちんぐ）しよう!

空知の時代が来る!最近やっと気付きました。

「北海道第一の都市札幌と第二の都市旭川に挟まれ、どことなく目立たない…空知」

「よく通るけど、なんとなく印象の薄い…空知」

正直なところ、こんな印象を持っている方が多いのではないのでしょうか?

もったいない、あまりにももったいないです。空知は、「美しい」「面白い」「美味しい」の三拍子がそろった地域。「空知ing」とはこんな魅力的な空知を大いに楽しもうよ!という掛け声です。これ流行らせたいなー!!

空知の魅力はもう数えきれないのですが、今回ご紹介したいのは、**とにかく空がでかい!!** ことです。

石狩川という大河と石狩平野という大平野。この二つを丸抱えしているのが空知。実は、最も北海道らしい風景がそこに広がっているというわけです。

北海道と言えばいつの間にか、ニセコや美瑛を思い浮かべる方が多いように思いますが、空知こそが最も北海道らしいのです。この大平野を29.2kmの日本一の直線道路、国道12号がずどんと貫いている。なんという爽快感。この国

道12号の真ん中の奈井江町のキャッチフレーズは、当然「ずどん」!! いいですねー。

空知には、美味しい食べ物、スイーツなども数えきれないほどあちこちにありますが、僕としてはそんなちまちましたものを写真にとらずにずどんと大空の写真を撮ってほしいと思うのです。

写真撮影におすすめの時間は、やはり朝と夕方でしょうか。日没と日の出前の数十分をマジックアワーと言いますが、空知のマジックアワーは、豪快かつ繊細。そこに立っているだけで、日々の憂さはいつの間にか融(と)けてなくなるのです。地球の大きさ、自分の小ささをいやというほど感じるこの時間、空知ingのだいご味はここに 있습니다。



直線日本一の国道12号

そして、この大地の昔を想像してみましょう。今見渡す限りの田園風景は、かつては原始の大森林、さらに石狩川による大湿原が広がっていました。今見えている空知の広大な水田は人間の汗と汗と汗の結晶というべき奇跡の光景なのです。今や「北海道米は美味い!」と大人気ですが、そもそもこの土地でお米を作ることができなかったのです。木を伐り、排水をし、客土し、品種改良を重ね… やっとこできたお米は「猫またぎ米」。つまりは「まずくて猫にさえも見向きもされないお米」とデイスられていた時代が長く長く続いたのです。こんな昔に思いを馳せると、夕焼けが涙でにじんできませんか?

スマホは下に向けず、空に向けよう空知! 下を見ちゃいけない、上を向いて歩こう空知!

空知ingの第一歩はここから始まるのです。



新篠津の夕焼け

(写真はすべて著者の撮影です)



Profile: 新保 元康 (しんぼ・もとやす)

1958年小樽市生まれ。北海道教育大学卒業後、札幌市内の小学校に37年間勤務。

4校で校長を務め定年退職後、認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長に就任、現在に至る

編集後記

- ▶「企業向けよろず情報誌KISETSU」12月号をお届けします。今号では12月中旬から受付開始となる通年雇用助成金の制度概要や手続などを紹介しているほか、札幌市の第2次まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023案、高校生が建設などの知識を競うコンストラクション甲子園地区予選の様態などをお伝えしています。
- ▶暑い夏が終わったらと思ったらもう師走。時の流れは速いものです。皆様にとってこの一年間はどのような年でしたか。行く年を振り返り、来る年を望みながら穏やかな年末をお過ごしください。